


○ 改善の基本方針は何か。

1 改善の基本方針

- (1) 社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する方向で改善を図る。
- (2) 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力を育成する観点から、
 - ・ 各学校段階の特質に応じて、習得すべき知識、概念の明確化を図る。
 - ・ コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取る。
 - ・ 社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述すること。

を一層重視する方向で改善を図る。  **言語活動の充実**

- (3) 我が国及び世界の成り立ちや地域構成、今日の社会経済システム、様々な伝統や文化、宗教についての理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することを重視する方向で改善を図る。

○ 改善の具体的事項は何か。

- 1 広い視野から地域社会や我が国の国土に対する理解を一層深め、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けることを重視して改善を図る。



例えば、

- ・ 地図帳や地球儀の活用を一層重視する。
- ・ 47都道府県の名称と位置、世界の主な大陸や海洋、主な国の名称と位置などを調べる学習を新たに加える。
- ・ 自分たちの住む県（都、道、府）の位置、世界の中での我が国の位置及び領土をとらえることができるようにする。

2 我が国の歴史や文化を大切にし、日本人としての自覚をもつようにするとともに、持続可能な社会の実現など、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことを重視して改善を図る。



例えば、

- ・ 縄文土器が使われていたころの人々の暮らしに関する内容を新たに加える、歴史的事象との関連で取り上げる代表的な文化遺産を例示したりするなどの伝統や文化に関する内容の充実を図る。
- ・ 社会生活を営む上で大切なルールや法及び経済に関する基礎となる内容の充実を図る。
- ・ 我が国の情報通信に関する内容について、高度情報化の進展を踏まえつつ学習のねらいを一層明確にする観点から改善を図る。
- ・ 我が国の国土や地域に関する内容について、環境保全、防災及び伝統や文化、景観、産物などの地域資源の保護・活用などの観点を重視して再構成する。

